

# FOCUS

## 追いかける。大学生。

野宿者、ドヤ街、治安の悪さ。大阪市西成区の印象は決していいものではない。今その西成が、交通の至便性と物価の安さから、外国人のバックパッカーの宿泊地として注目を浴びている。そのような中、観光・宿泊地としての西成のイメージアップを目指す、阪南大の松村嘉久ゼミ取材した。



地下鉄動物園前駅（大阪市西成区）を降りてすぐのところに建つ、新今宮観光案内所（新今宮TIC）。一見普通の観光案内所だが、ここが松村ゼミの活動拠点だ。ゼミ生と有志を合わせた40人ほどの学生が、毎週末と長期休暇中の毎日、交代制でボランティアに立つ。

西成区は交通至便のため、日雇い労働者のための安宿が、主に外国人のバックパッカーに利用されている。2012年には外国人宿泊客だけで年間10万泊を達成した。新今宮TICは日本語の不自由な外国人宿泊客を始めとする観光客と地域をつなぐため、2009年に設立。運営は学生主体で「観光客から

「どんな質問にも答える」というのがウリだ。

観光客からの質問はひとつひとつがノートに記され、インターネットでも公開されている。「ここから堺市まで歩きたいから、道を教えてほしい」など、観光客からは予想外の質問をされることもしばしばだ。「普段会わないような人に会うため、日々新たな発見がある」とゼミ生らは口をそろえる。

「時間のかかる調べ物を依頼され『ありがとう、助かったわー』と言われた時が嬉しい」と話すのは、ゼミ長の大宅和佳さん（阪南大・3年）。最初西成に来たときはその雰囲気「引き返そう」と思ったというが、今では西成

## 「安い、来やすい西成を」



での活動が楽しく、「印象もよくなってきた」。

松村ゼミの活動は、新今宮TICの中だけにとどまらない。観光客のあらゆる質問に答えるため「まちあるき」と称して新今宮TIC周辺を歩き、あらゆる観光情報を調べつくす。「現場共育」を目指す松村教授。まちあるきを通して作った外国人用の「食べ歩きマップ」が卒業研究となった例もあるそうだ。

松村ゼミでは西成区のPR、イメージアップにも力を入れている。もともと盛んな大衆演劇、ジャズ、落語などのイベントを「勝手に応援する」という名目で、11月16日から25日まで「西成ライブエンターテインメントフェス（西成LOVEフェス2012）」を企画。チラシ制作などの宣伝活動に奔走した。

もともと区内各所でやっていたイベントを「つなぐ」形で行われた西成LOVEフェス2012。学生らが唯一企画したのが、フィナーレのジャズライブだ。動物園前駅近くのホテルのロビーには、地元住民、外国人宿泊客、学生ら40人ほどが集まった。

「西成ジャズ」の発起人で松村教授の知人の松田順司さんらの演奏には、会場全員が



沸き上がった。写真を撮る人、拍手する人、1時間の演奏に対して「短すぎるでー」と寂しそうにヤジを飛ばす人も。ライブを終えた大宅さんは「とにかく楽しかったです」と笑顔だった。

松村ゼミは今後も「安い、来やすい西成を、さまざまなかたちで発信していく」という。「西成」のイメージが変わる日も、もう近いのかもしれない。（聞き手 鈴木太郎）

## UNN関西学生報道連盟

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会  
同志社大学 PRESS 編集部  
NEWS 立命通信社  
関学新月通信社  
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部  
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部  
京都女子大学藤花通信編集部  
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>

共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-24 ダイニホンビル4F

(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) [info@unn-news.com](mailto:info@unn-news.com)